

旭川中・上流域で最大規模の古墳
川東車塚古墳



指定区分	県指定史跡
読みかた	かわひがしくるまづかこふん
所在地	真庭市田原
指定年月日	平成14年3月12日
解説	4世紀後半ごろの築造。標高180mの丘陵部先端に位置し、旭川中・上流域最大規模である全長59.1mの前方後円墳。この地域の首長墓とみられる。主体部は粘土槨(ねんどかく)で、割竹形木棺(わりだけがたもっかん)が用いられていた。刀子(とうす)、土器などが出土した。
アクセス方法	JR美作落合駅から約1.5km
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	川東車塚古墳
よみかた	かわひがしくるまづかこふん
しょざいち (所在地)	真庭市田原
していたひ (指定した日)	平成14年3月12日
せつめい	4世紀(せいき)の後半(こうはん)に造(つく)られました。長(なが)さおよそ60メートルの前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)です。木棺(もっかん)を粘土(ねんど)で厚(あつ)く覆(おお)っています。